

INTERVIEW QUESTION BOOK

コンサル転職 面接頻出質問40 &回答シート

元アクセンチュア面接官が監修 | 1次面接から最終面接まで、質問の意図と答え方

2026年版

SUPERVISED BY — 監修



前川 義己

元アクセンチュア マネージング・ディレクター／
中途採用面接官



中村 水藻

元アクセンチュア シニアマネージャー／中
途採用面接官

STRAND PARTNERS

はじめに

コンサルティングファームの面接で聞かれる質問は、実はある程度決まっています。差がつくのは「何を聞かれるか」ではなく、**その質問で面接官が何を見ているかを理解し、自分の経験で答えを用意できているか**です。

この資料は、STRAND PARTNERSが転職支援の現場で使っている面接対策のエッセンスを、40の頻出質問と回答シートにまとめたものです。

1. 読む

各質問の「面接官の意図」と「答え方のポイント」を確認

2. 書く

回答メモ欄に、自分のエピソードで答えを書き出す

3. 話す

声に出して60～120秒で話せるか確認。模擬面接で仕上げる

この資料の監修

前川 義己（元アクセンチュア マネージング・ディレクター／中途採用面接官）

京セラ、NTTデータ、ITベンチャーを経て、アクセンチュアにマネージング・ディレクターとして従事。在籍中は中途採用の面接官も担当。

中村 水藻（元アクセンチュア シニアマネージャー／中途採用面接官）

新卒でアクセンチュアに入社し、シニアマネージャーまで昇進。在籍中は中途採用の面接官も担当。

目次

1. 面接段階別：誰が・何を見ているか
2. 元面接官が見ている5つのポイント
3. 回答の基本型：STAR+ So What
4. 頻出質問 A. 自己紹介・経歴
5. 頻出質問 B. 転職理由
6. 頻出質問 C. 志望動機
7. 頻出質問 D. 適性・人物
8. 頻出質問 E. キャリアビジョン
9. 頻出質問 F. 最終面接（パートナー面接）
10. 頻出質問 G. ケース・思考力
11. 深掘り質問への3つの型
12. 逆質問：評価が上がる質問・下がる質問
13. 面接前日のチェックリスト

面接段階別：誰が・何を見ているか

段階	面接官	主な内容	見られていること
1次面接	マネージャー～シニアマネージャー	経歴の深掘り＋簡易ケースやフェルミ推定	基礎的な論理性、コミュニケーション、コンサル適性
2次面接	シニアマネージャー～ディレクター	本格的なケース面接＋志望動機の深掘り	思考の深さ、詰められた時の対応、一緒に働きたいか
最終面接	パートナー～ディレクター	志望動機・キャリアビジョン・カルチャーフィット	クライアントの前に出せるか、長く活躍しそうか

最終面接は「顔合わせ」ではありません。パートナーは自分の案件に入る前提で「この人をクライアントの前に出せるか」を判断しています。1次・2次の面接メモは引き継がれているため、段階ごとに話が変わると評価が下がります。

FIVE POINTS

元面接官が見ている5つのポイント

アクセンチュアで中途採用の面接官を務めた前川・中村は、面接で次の5点を見ていたといいます。質問の形はファームや職種で変わりますが、志望動機と経験を深掘りする際の評価の軸として、他のファームの準備にも役立ちます。

1. クライアントワークに必要なスキル・経験を、適切に説明できるか

プロジェクト・業務の推進力（経験）、スピード感、ロジカルシンキング、熱意、知的好奇心、自己研鑽

2. 経歴や経験業務が、応募先の業務と親和性があるか

自分の業界知識・業務経験が、どの案件のどの場面で使えるか

3. 現職や今の環境では、本当にできないのか

「それは現職ではできないのですか？ なぜできないのですか？」

4. コンサル業界、その中でもそのファームであるべき理由

「なぜコンサルか」と「なぜこのファームか」を分けて語れるか

5. 中長期的なキャリアで何を実現していきたいのか

今回の転職が、その実現にどうつながるか

回答の基本型：STAR＋So What

経験を語る質問には、STAR（状況・課題・行動・結果）で構造化して答えるのが基本です。コンサルの面接では、さらに「その経験から何を学び、コンサルでどう活かすか（So What）」まで言い切ることが求められます。

S（状況）	規模感がわかる数字を1～2個入れて簡潔に
T（課題）	何が問題で、なぜ難しかったのか
A（行動）	「私が」何を判断し、何をしたか（チームの話にしない）
R（結果）	成果。数字がなければビフォー・アフター
So What	その経験から何を学び、コンサルでどう再現できるか

1つの回答は**長くても1～2分**が目安です。**結論から話し**、複数の話をするときは「3点あります」と全体像を先に伝えます。30秒ほどで区切って相手の反応を確かめ、詳細は聞かれてから話せば十分です。

回答メモの書き方

次のページからの回答メモ欄には、文章ではなく**話す順番の箇条書き**で書くのがおすすめです。丸暗記した文章は深掘りされると崩れます。「結論→エピソードの要点→学び」の3行があれば、面接では自分の言葉で話せます。

A. 自己紹介・経歴

Q01 これまでのキャリアを簡単に教えてください（自己紹介）

面接官の意図 要点をまとめて話せるか。強みを自分の言葉で言えるか

答え方 年数・領域・規模・実績・強み・志望との接続を60秒に。時系列で全部話さない

回答メモ

Q02 これまでで最も大きな成果は何ですか？ なぜ達成できたのですか？

面接官の意図 チームの成果ではなく、あなた自身の試行錯誤と工夫

答え方 チームの作業をそのまま語らない。自分がどう考え、どこで工夫し、何を変えたかを具体的に。泥臭いエピソードのほうが評価される

回答メモ

Q03 失敗した経験と、そこから学んだことを教えてください

面接官の意図 失敗を客観視し、行動を変えられるか

答え方 具体的な失敗→原因を自分に置く→行動の変化→その後の結果まで

回答メモ

Q04 チームで意見が対立した時、どう対処しましたか？

面接官の意図 対立を避けずに、建設的に解消できるか

答え方 対立の構造をどう整理し、何を判断基準に合意したかを具体的に

回答メモ

Q05 周囲を巻き込んで、仕事を前に進めた経験を教えてください

面接官の意図 プロジェクト・業務の推進力

答え方 誰を、どんな順番で、何を材料に動かしたか。抵抗にどう対処したか

回答メモ

Q06 短期間で成果を出さなければならなかった経験はありますか？

面接官の意図 スピード感と優先順位づけ

答え方 限られた時間で「やらないこと」をどう決めたかまで話す

回答メモ

Q07 これまでの仕事で、最も難しかった判断は何ですか？

面接官の意図 ロジカルシンキングと意思決定の質

答え方 選択肢・判断基準・決め手を順に。結果が悪かった場合は何を学んだかも

回答メモ

B. 転職理由

Q08 なぜ転職を考えているのですか？

面接官の意図 不満で逃げていないか。同じ理由でまた辞めないか

答え方 事実は正直に、ただし「不満」ではなく「解決したい課題・得たいもの」として

回答メモ

Q09 それは現職ではできないのですか？ なぜできないのですか？

面接官の意図 転職の必然性（元面接官が必ず確認するポイント）

答え方 現職で実際に試したことと、構造的にできない理由をセットで

回答メモ

Q10 なぜ「今」なのですか？

面接官の意図 タイミングの必然性

答え方 現職で一区切りついたこと、今動く理由を具体的に

回答メモ

Q11 現職を辞める決め手になったことは何ですか？

面接官の意図 判断の軸が一貫しているか

答え方 出来事ではなく、自分の判断基準で説明する

回答メモ

Q12 転職によって実現したいことは何ですか？

面接官の意図 転職がゴールになっていないか

答え方 入社後にやりたいことと、その先のキャリアをつなげる

回答メモ

C. 志望動機

Q13 なぜコンサルなのですか？

面接官の意図 自分の経験から生まれた、その人にしか言えない理由か

答え方 「上流から課題を解決したい」など誰でも言える理由だけでは0点。自分のリアルな経験を具体的に描写し、志望理由とつなげる

回答メモ

Q14 なぜ他社ではなく、当社なのですか？

面接官の意図 その会社をどこまでリサーチしているか

答え方 公式サイト・IR・採用サイト・社員インタビュー・カジュアル面談などで調べたことを交え、他社との違いと自分の転職理由をつなげる

回答メモ

Q15 なぜこの部門・職種を志望するのですか？

面接官の意図 配属後の活躍がイメージできるか

答え方 部門が扱う案件を調べ、自分の経験がどこで使えるかを言葉にしておく

回答メモ

Q16 他にどのファームを受けていますか？ 当社は第一志望ですか？

面接官の意図 志望の本気度と、ファーム選びの軸

答え方 正直に答えてよい。どういう軸でその組み合わせなのかを説明する

回答メモ

Q17 あなたの経験は、当社のどのような案件で活かせると思いますか？

面接官の意図 経歴と業務の親和性

答え方 業界知識・業務経験・スキルを、具体的な案件の場面に当てはめて

回答メモ

Q18 入社後に携わりたい案件やテーマは何ですか？

面接官の意図 入社後のイメージの具体性

答え方 1つに絞りすぎず、軸となる領域と、その理由を

回答メモ

Q19 当社と他のファームの違いを、どう理解していますか？

面接官の意図 業界研究の深さ

答え方 公開情報で確認できる事実と、面談やOB訪問で得た情報を分けて話す

回答メモ

D. 適性・人物

Q20 あなたの強みは何ですか？

面接官の意図 自己認識の正確さと、コンサルでの再現性

答え方 強み→根拠となるエピソード→コンサルでどう活かすか

回答メモ

Q21 あなたの弱みは何ですか？

面接官の意図 自己認識と、弱みに自分で対処できているか

答え方 裏返すと強みになる、コンサルとして致命的でない弱みを選び、自分なりの対策を必ずセットで話す

回答メモ

Q22 コンサルの仕事はハードですが、大丈夫ですか？

面接官の意図 覚悟の確認

答え方 「大丈夫です」＋根拠となる経験。稼働の密度が違うことを理解していると示す

回答メモ

Q23 年下の上司の下で働くことに抵抗はありますか？

面接官の意図 役割で動ける柔軟性（30代以上で多い）

答え方 抵抗がない根拠と、ファームのやり方を早く吸収する姿勢

回答メモ

Q24 最近、自分で学んでいることはありますか？

面接官の意図 知的好奇心・自己研鑽

答え方 何を、なぜ、どう学び、仕事にどう使っているかまで

回答メモ

Q25 最近気になったビジネスニュースは何ですか？

面接官の意図 情報感度と、自分の頭で考える力

答え方 事実→なぜ気になったか→自分ならどう考えるか、の3点で

回答メモ

Q26 チームの中では、どんな役割を担うことが多いですか？

面接官の意図 チームでの振る舞いの再現性

答え方 役割と、それを示す具体的な場面をセットで

回答メモ

Q27 周囲からは、どんな人だと言われることが多いですか？

面接官の意図 自己認識と他者評価のずれがないか

答え方 言われる内容と、そう言われた具体的な場面をセットで

回答メモ

E. キャリアビジョン

Q28 5年後、10年後にどうなっていたいですか？

面接官の意図 コンサルを踏み台にしていないか

答え方 コンサルでの成長を主軸に、長期の選択肢は「視野に入れている」程度に

回答メモ

Q29 コンサルで身につけたいスキルは何ですか？

面接官の意図 成長意欲の具体性

答え方 スキル名だけでなく、それを使って何をしたいかまで

回答メモ

Q30 当社で長く活躍していくイメージはありますか？

面接官の意図 定着の見込み

答え方 昇進のステップと、そこで担いたい役割を具体的に

回答メモ

Q31 将来、マネジメントに挑戦したいですか？

面接官の意図 リーダーシップへの志向

答え方 経験がなければ、小さくても人を動かした経験を根拠に

回答メモ

F. 最終面接（パートナー面接）

Q32 改めて、当社を志望する理由を聞かせてください

面接官の意図 1次・2次との一貫性と、志望動機の深さ

答え方 これまでの面接と同じ軸で、もう一段具体的に。話を変えない

回答メモ

Q33 クライアントの前に立つうえで、あなたの強みは何ですか？

面接官の意図 クライアントの前に出せるか

答え方 対人での信頼を得た具体的な場面を

回答メモ

Q34 入社可能時期と、希望年収を教えてください

面接官の意図 条件面の現実性

答え方 現職の引き継ぎを踏まえて現実的に。年収は現年収と希望レンジを正直に

回答メモ

Q35 最後に、何か伝えておきたいことはありますか？

面接官の意図 志望度と熱意

答え方 志望理由の要点と、入社後に貢献したいことを30秒で

回答メモ

G. ケース・思考力

Q36 (フェルミ推定) 国内の〇〇の市場規模を推定してください

面接官の意図 構造化と、前提を置いて計算する力

答え方 分解の式を先に示し、前提を口に出しながら進める

回答メモ

Q37 (ケース) 〇〇の売上を伸ばす施策を考えてください

面接官の意図 論点設定と仮説思考

答え方 売上の分解→どこが課題かの仮説→打ち手と優先順位、の順に

回答メモ

Q38 その前提は本当に正しいですか？ 他の可能性は？

面接官の意図 詰められた時の対応

答え方 指摘が正しければ取り込んで修正。根拠があれば丁寧に主張する

回答メモ

Q39 あなたの経験を一般化すると、どんな示唆がありますか？

面接官の意図 経験を抽象化して他に活かす力

答え方 個別の出来事から、他の業界・場面でも使える教訓を引き出す

回答メモ

Q40 限られた情報で判断を下した経験はありますか？

面接官の意図 不確実な中での仮説思考

答え方 どんな仮説を置き、何を確かめ、どこで判断したかを話す

回答メモ

深掘り質問への3つの型

コンサルの面接で最も差がつくのは、最初の回答ではなく、その後の「なぜ?」「本当に?」「他の選択肢は?」への対応です。

型1：意図を確認してから答える	「ご質問は〇〇という観点でよろしいでしょうか」と一度確かめる。論点を正確につかむ姿勢として評価される
型2：結論→根拠→前提の順で答える	詰められても「結論は〇〇です。理由は2点あり…」の構造を崩さない
型3：正しい指摘は取り込み、修正する	「ご指摘のとおりです。取り込むと結論は〇〇に変わります」。修正できる柔軟性は加点になる

詰めるのは落とすためではなく、プレッシャーの中での考え方と振る舞いを見るためです。完璧に答え切る必要はなく、構造を崩さずに対話を続けられることが合格ラインです。

REVERSE QUESTIONS

逆質問：評価が上がる質問・下がる質問

評価が上がる逆質問

- この会社でキャリアを築く中で、最も成長を実感した案件はどんなものでしたか？
- 入社後1年で活躍している中途入社者に、共通する特徴はありますか？
- 私の経歴で、〇〇領域の案件に関わる可能性はどの程度ありますか？
- 今日の面接で、私に足りないと感じた点があれば教えていただけますか？

避けたい逆質問

- 御社の強みは何ですか？（調べればわかる／志望動機で自分が言うべきこと）
- 残業・副業など条件面の質問（面接で聞くこと自体がマイナス。エージェント経由で確認する）
- 特にありません（志望度が低いと判断される）

自分の逆質問メモ（3つ用意する）

面接前日のチェックリスト

- ☐ 職務経歴書の内容を、数字を含めて口頭で説明できる
- ☐ 自己紹介を60秒で話せる
- ☐ 志望動機を「なぜコンサル」「なぜこのファーム」「何を提供できるか」の3段階で、90秒で話せる
- ☐ 転職理由を「不満」ではなく「目的」で話せる。「現職ではなぜできないか」にも答えられる
- ☐ 失敗経験・弱み・対立経験のエピソードを1つずつ用意した
- ☐ 応募先の直近のニュースと注力領域を確認した
- ☐ 逆質問を3つ用意した
- ☐ 前回の面接で聞かれたことと自分の答えを振り返った

回答を、元面接官の目線で仕上げませんか

STRAND PARTNERSでは、ファームで面接官を務めた経験者を含むアドバイザーが、志望ファーム・部門に合わせた模擬面接を無料で行っています。書き出した回答メモをお持ちいただければ、深掘りされるポイントと答え方を具体的にお伝えします。

無料キャリア相談 <https://strand-partners.com/#contact>

発行：STRAND PARTNERS（有料職業紹介事業 許可番号 13-ユ-316871）／本資料の無断転載を禁じます。

掲載内容は一般的な傾向をまとめたもので、各ファームの選考内容を保証するものではありません。